

ダイケンリビングドア 引戸 戸車・ラクラクローズ金具・鴨居レール

施工業者様へ

弊社では、お施様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、取扱説明書をお施様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願いいたします。 ※取扱説明書は右記のURLからダウンロードできます。 <https://www.daiken.jp/qr/manual/>

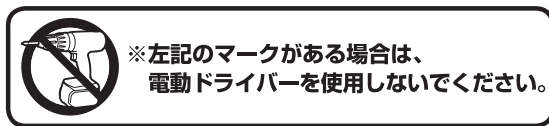


■日頃より、弊社製品のご愛顧をいただき、誠に有難うございます。
施工前には必ずこの説明書をご一読いただき、安全で確実な作業をしてください。

- お届けした部品やメンテナンス用品自体の不備に関する事以外は当社では責任を負いかねます。取付時の怪我や物品の破損には十分お気を付けください。
- お客様の取付不備により製品本体に不具合が生じ、怪我や物品の破損につながる場合があります。当社では責任を負いかねますので取付には充分ご注意ください。
- ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドライバー（⊕2番ビット）
- コンベックス等測定機器手回しドライバー
- ハンマー
- 手回しドライバー



もくじ

施工説明書

1. 交換施工の手順	1
2. おとどけ製品の確認	1
3. 引戸の取外し	2
4. Y戸車、ラクラクローズ金具の交換	2
5. 鴨居レール、作動ピンブロックの取外し	3
6. 鴨居レール、作動ピンブロックの取付け	4・5
7. 引戸の取付け	6
8. 各金具の調整	6～9

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる⚠️、🚫マークや「お願い」は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

■本文中に使われている警告表示・図・記号の意味は次のとおりです。

警告表示の種類と内容

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
	してはいけない内容です	
	必ず実行していただく内容です	
お願い	留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など	

1. 交換施工の手順 手順を守り、安全で確実な作業をしてください。

【Y戸車】のみの交換は、1▶2▶3▶6▶7 を参照ください。

【鴨居レール】のみの交換は、1▶2▶4▶5▶6▶7 を参照ください。

1 おとどけ製品の確認

5 作動ピンブロック、
鴨居レールの取付け 〈枠側〉

2 引戸の取外し

6 引戸の取付け

3 ラクラクローズ金具、
Y戸車の交換 〈扉側〉

7 各金具の調整

4 作動ピンブロック、
鴨居レールの取外し 〈枠側〉

ラクラクローズ金具の取外し・取付けは、
動画でもご覧いただけます。

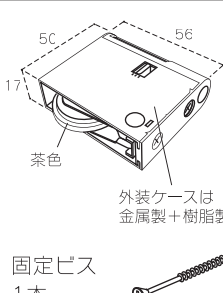
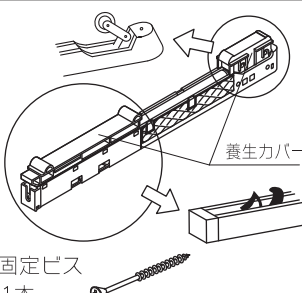
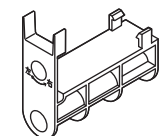
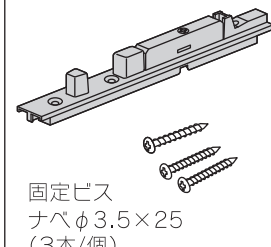
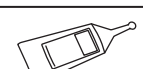

※手順の詳細は、本書の内容とあわせてご確認ください。


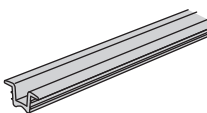


2. おとどけ製品の確認

おとどけ製品を確認してください。 ※関連する部品がすべて載っています。

【引戸ご購入時期 2014年6月～】

製品	Y戸車 (下車)	ラクラクローズ金具 本体	ラクラクローズ金具 化粧キャップ	作動ピンブロック
本体				
付属品		接着剤 各部材に 1本ずつ		埋め木 各部材に 5本ずつ

製品	ストップレール(中用) ※3枚引違いのみ	鴨居レール
本体 ※接着剤や埋め木を付属しておりませんので、必要に応じて上記部材の付属品を流用もしくは現場調達してください。		

3. 引戸の取外し

通常のフスマを取り外す様に引戸を取外します。

1. 引戸の両端を、しっかり持ち、上に突き上げます。
2. 下側を手前に引き、下戸車を下レールから外します。
3. 斜めになった状態で上戸車を上レールから外します。

⚠ 警告
 ドアを取外す時は、指はさみに注意し、しっかり保持して下さい。
 また、周囲に小さい子供がいないか、良く確認して下さい。

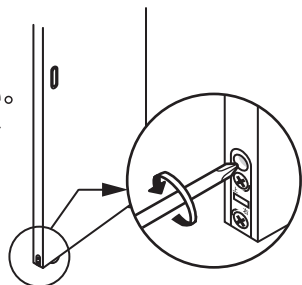


4. Y戸車、ラクラクローズ金具の交換

- ① Y戸車を取付けているビスをドライバーで外し、Y戸車を取外してください。

⚠ 注意

ドアの転倒に注意してください。床にキズをつけない様にマット等を敷くなど注意が必要です。

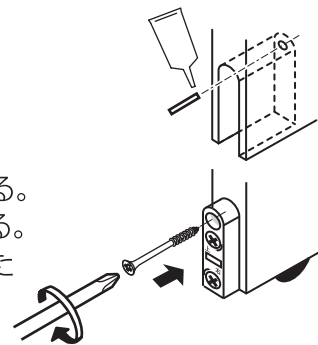


- ② ビス穴に補習用の「埋め木」をし、ドライバーと専用ビスで、Y戸車を取付けてください。

⚠ 注意

ビスの保持力を高める為に必ず埋め木をしてください。

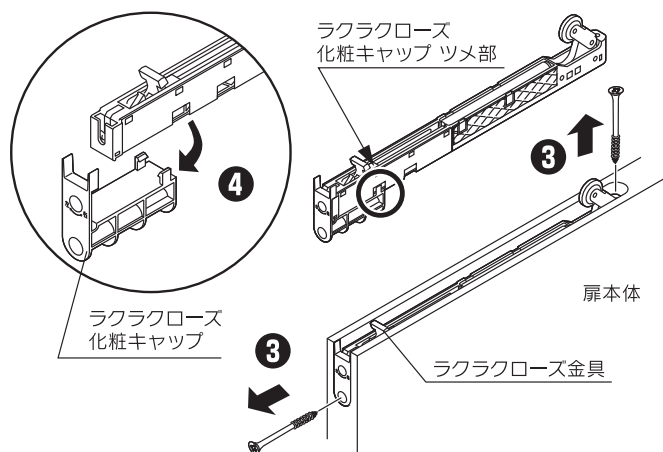
1. 埋め木に接着剤をつける。
2. ビス穴に埋め木を入れる。
3. 埋め木の頭が飛び出したらカッターで削る。



- ③ ラクラクローズ金具を取付けているビスをドライバーで外し、金具を取外してください。

- ④ ラクラクローズ金具に接続されているラクラクローズ化粧キャップは、右図の矢印部のツメを外して、金具本体から取外してください。

※ラクラクローズ金具本体のみを交換の場合はラクラクローズ化粧キャップを外して交換が必要です。

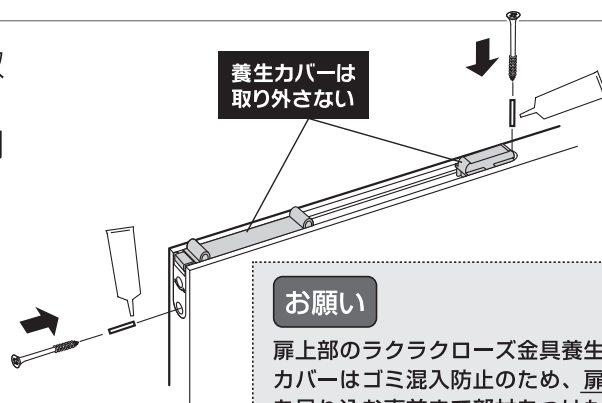


- ⑤ 交換用のラクラクローズ金具に化粧キャップを取付けてください。
 ビス穴に補習用の「埋め木」をし、ドライバーと専用ビスで、ラクラクローズ金具を取付けてください。

⚠ 注意

ビスの保持力を高める為に必ず埋め木をしてください。

1. 埋め木に接着剤をつける。
2. ビス穴に埋め木を入れる。
3. 埋め木の頭が飛び出したらカッターで削る。



お願い
 扉上部のラクラクローズ金具養生カバーはゴミ混入防止のため、扉を吊り込む直前まで部材をつけたまま保管してください。

5. 鴨居レール、作動ピンブロックの取外し

1. 鴨居レールの取外し

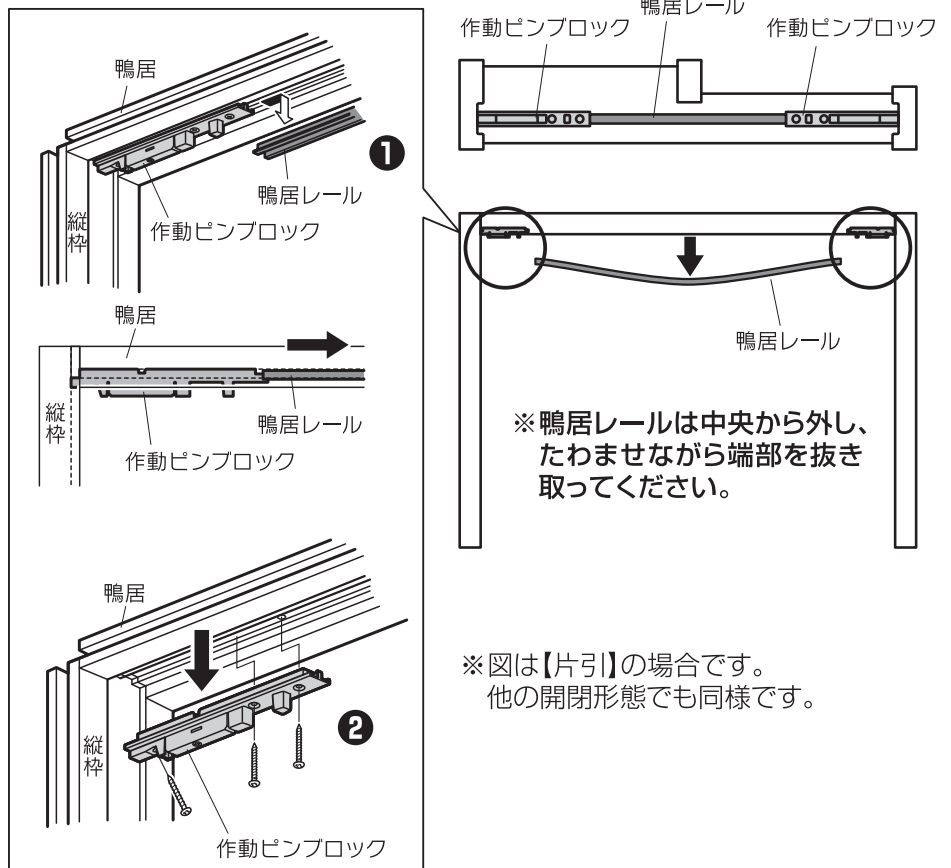
※作動ピンブロックのみの交換も可能です。
その場合は鴨居レールを外さずに交換してください。

- ① 交換が必要な場合は、鴨居レールを取外してください。

鴨居レールをたわませて、左右の作動ピンブロックから抜き取ってください。

- ② 交換が必要な場合は、作動ピンブロックを取外してください。

作動ピンブロックを固定しているビスをドライバーで取外してください。



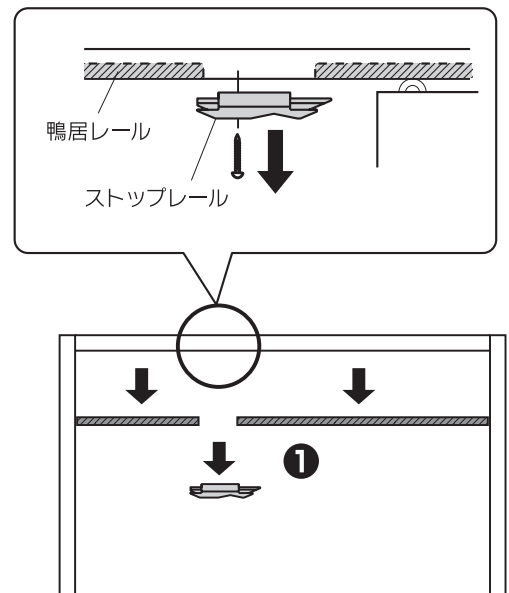
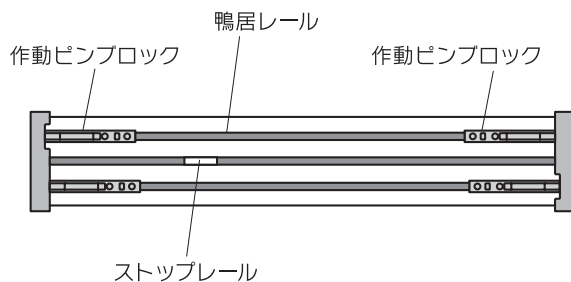
※鴨居レールは中央から外し、たわませながら端部を抜き取ってください。

※図は【片引】の場合です。他の開閉形態でも同様です。

2. 3枚引違の中央の鴨居レールとストップレールの取外し

3枚引違の中央のレールにはストップレールが付いています。

- ① 交換が必要な場合は、ストップレールを取外してください。

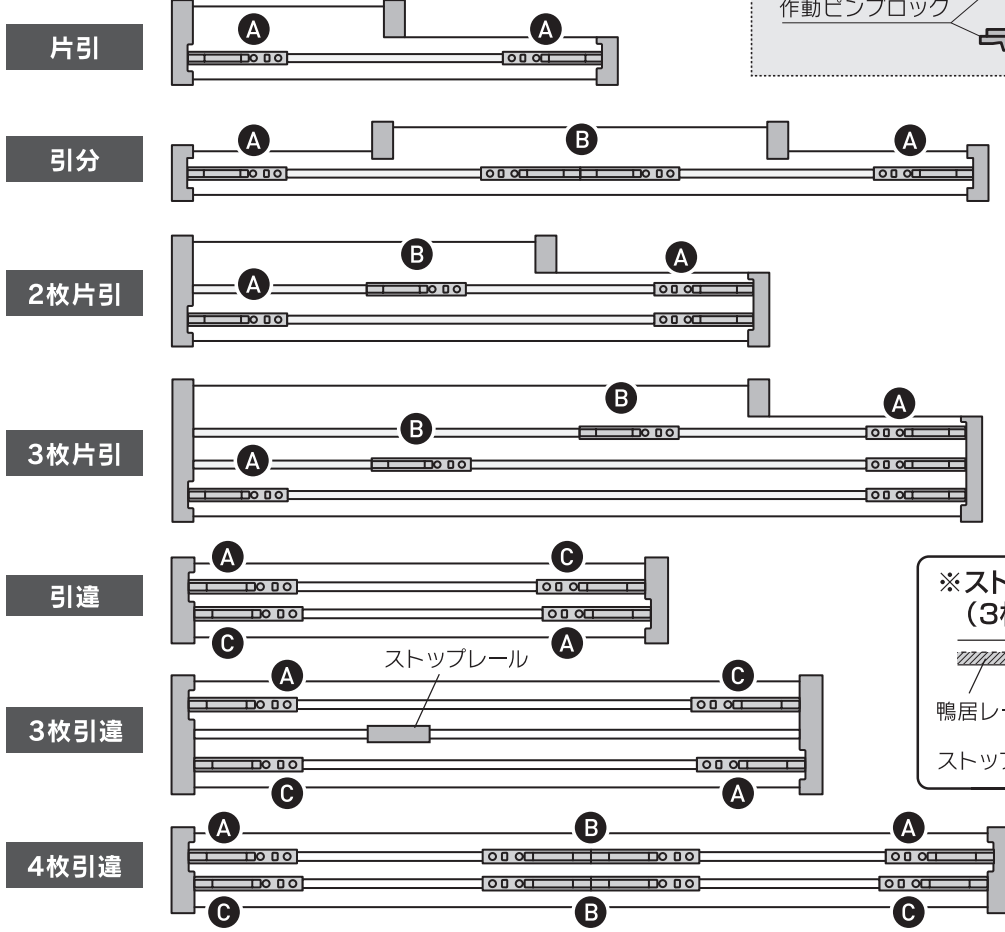


6. 鴨居レール、作動ピンブロックの取付け

作動ピンブロックの取付け

下図を参考にして作動ピンブロックの取付け位置と向きを確認してください。

お願い 作動ピンブロックは、ピンがお互いに内側に向くように取り付けてください。



注意
作動ピンブロックやストップレールのビス固定には、必ず埋め木と接着剤を使用してください。

※ストップレールの方向 (3枚引違の中央・引手違扉のみ)

開口の内側
なだらかな面

作動ピンの取付け位置別に、下のイラストにしたがって、ビスで固定してください。

A 縦枠(戸じゃくり)側

リード穴
鴨居
縦枠
ビスの施工順 1 2 3
作動ピンブロック

鴨居スペーサー 鴨居 リード穴
縦枠
作動ピンブロック
縦枠との間に隙間がないこと

B 鴨居中央

※2枚片引、3枚片引の場合は片側のみ

鴨居
作動ピンブロック 1 2 3
作動ピンブロック

リード穴 鴨居 リード穴
リード穴に合わせてビス固定

C 縦枠(戸じゃくり無し)側

鴨居
縦枠
ビスの施工順 1 2 3
作動ピンブロック

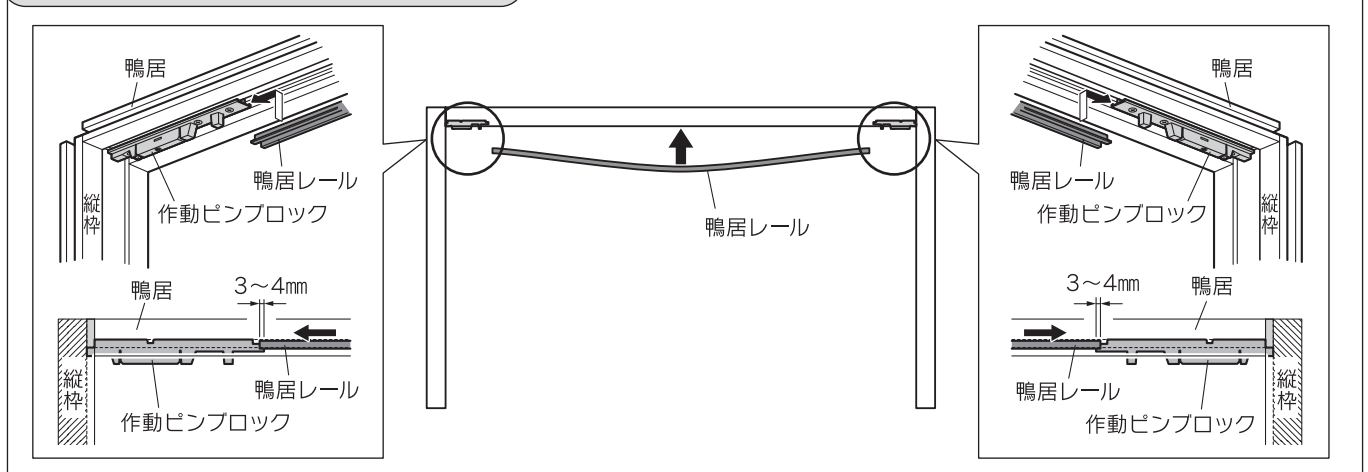
リード穴 鴨居
縦枠
作動ピンブロック
縦枠との間に隙間がないこと

6. 鴨居レール、作動ピンブロックの取付け

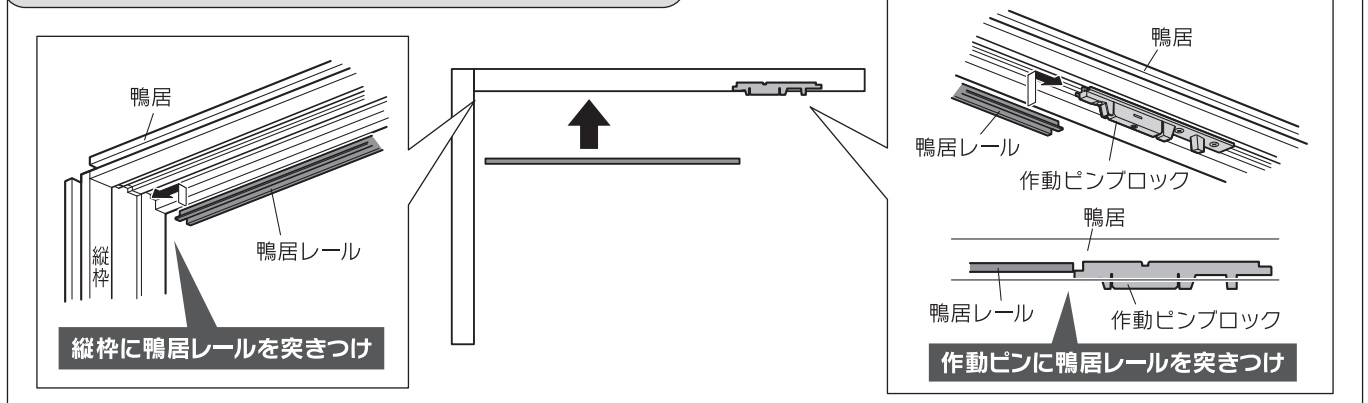
1. 鴨居レール、作動ピンブロックの取付け

鴨居レールをたわませて、左右の作動ピンブロックの内側に差し込んでください。中央部も鴨居の溝にしっかりと差し込んでください。

作動ピン同士間の鴨居レールの取付け

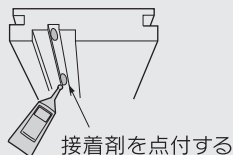


作動ピン(後ろ側)と縦枠の間の鴨居レールの取付け

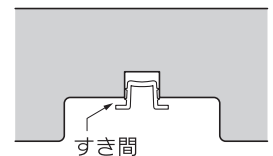
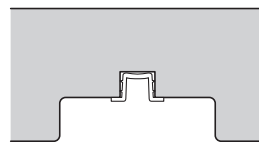


お願い 接着剤は点付けてください。

ラクラクローズ金具や作動ピンブロックに付属の接着剤



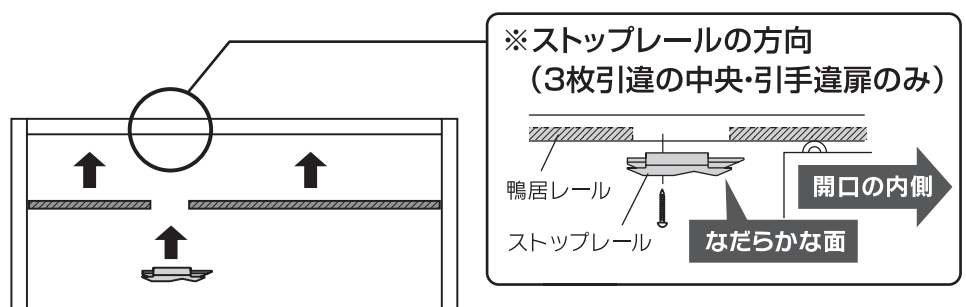
敷居とレールのすき間がない様にしっかりとたたきこんでください。



2. 3枚引違の中央の鴨居レールとストップレールの取付け

3枚引違の中央のレールにストップレールを専用ビスで固定してください。

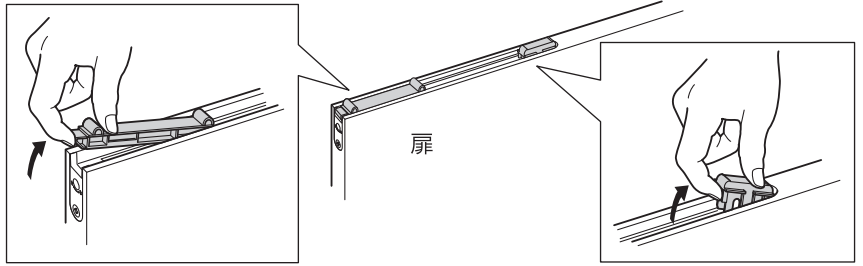
※ストップレールの向きを確認してください。



7. 引戸の取付け

1. 養生カバーの取外し

扉の上部についている養生カバーを取外してください。取外した養生カバーは廃棄してください。



2. 扉の吊り込み

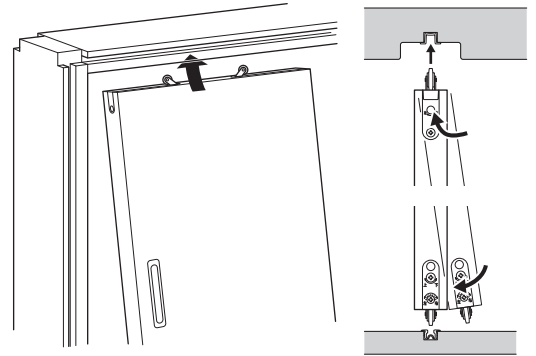
引手の向きを確認し、扉上部のガイドローラーを鴨居のレールにはめこんでください。レールに戸車をおとしこんでください。

⚠ 注意

❗ 上下の戸車がしっかりとレールにはまっていることを確認してください。

❗ 鴨居と扉のクリアランスが4~5.5mmであることを確認してください。

鴨居と扉の隙間が大きいと扉が脱輪したり、扉が脱落したりする可能性があります。



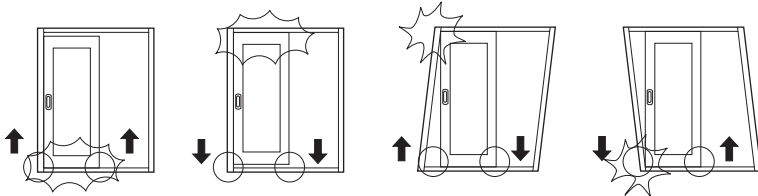
8. 各金具の調整

電動ドリルを使用しないでください。

1. 扉の調整

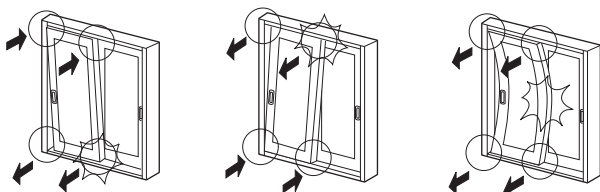
上下調整 (調整可能範囲:4mm)

下図のように扉と枠が当たる場合、○印のついた箇所の戸車を矢印: ➡ の方向に調整してください。

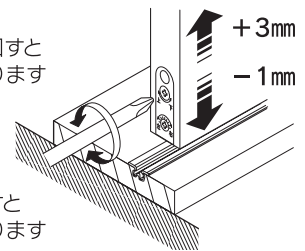


左右調整 (調整可能範囲:4mm)

下図のような状態の場合、○印のついた箇所の戸車及びラクラクローズを矢印: ➡ の方向に調整してください。



反時計回りに回すと
扉が下に下がります



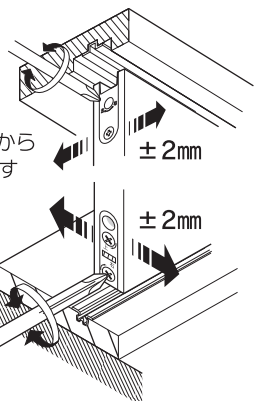
時計回りに回すと
扉が上に上がります

反時計回りに回すと
木口から見て扉が
右側に動きます

時計回りに回すと木口から
見て扉が左側に動きます

反時計回りに回すと
木口から見て扉が
左に動きます

時計回りに回すと
木口から見て扉が
右に動きます

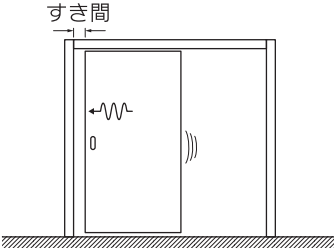
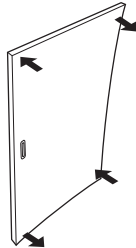
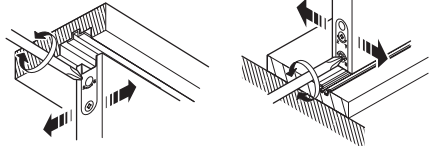
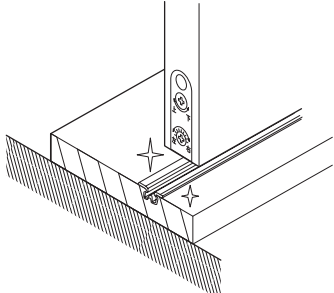
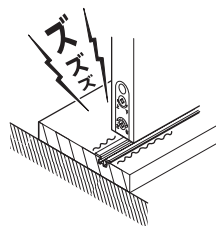
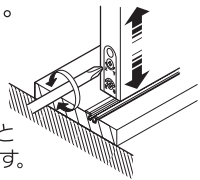
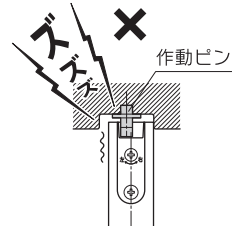
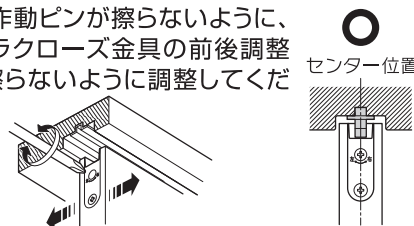
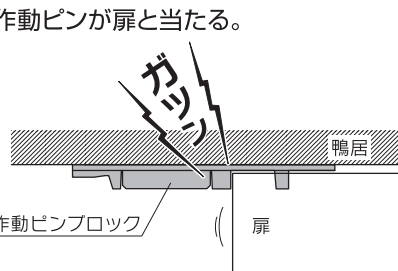
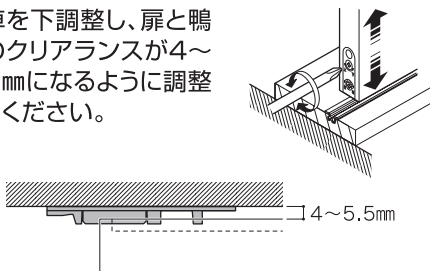
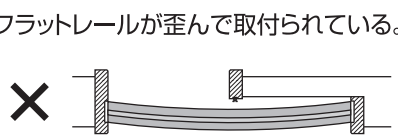
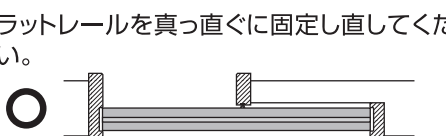
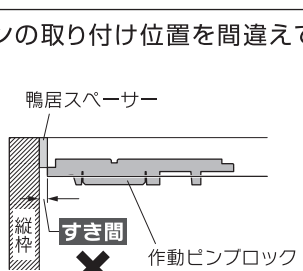
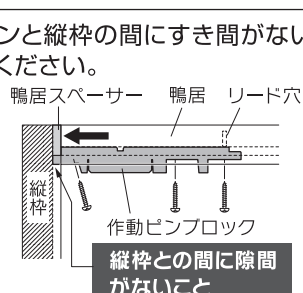
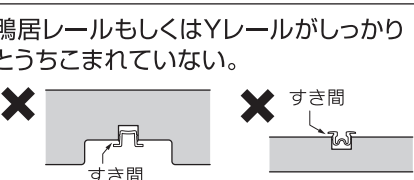



8. 各金具の調整



電動ドリルを使用
しないでください。

2. ラクラクローズの作動確認

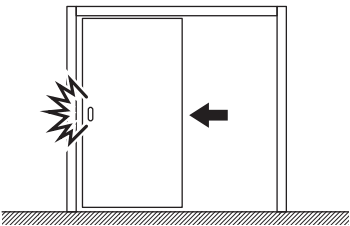
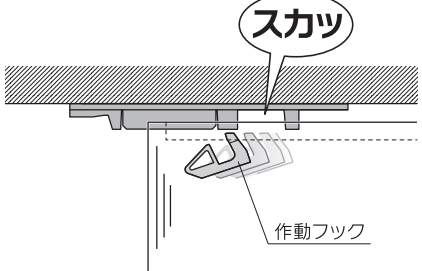
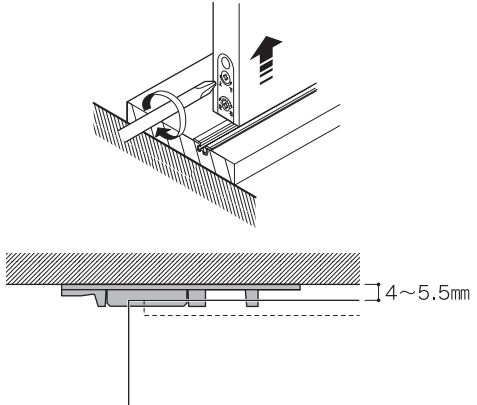
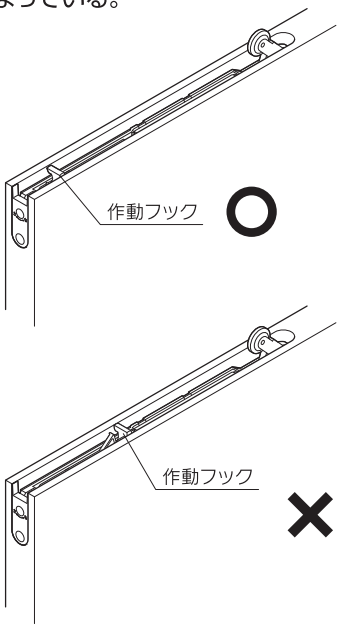

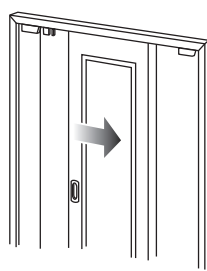
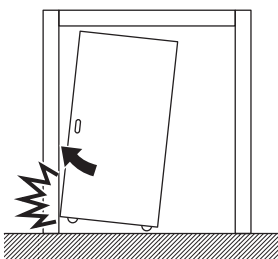
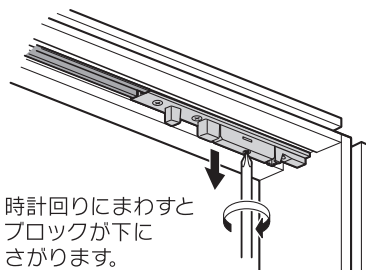
症 状	考えられる原因	調整方法
<p>扉が最後まで引き込まれない。</p> 	<p>扉がねじれている。</p> 	<p>戸車前後調整とラクラクローズ金具で、扉のねじれがなくなるように調整してください。</p>  <p>〈扉上部の前後調整〉 〈扉下部の前後調整〉</p>
<p>はじめに…</p>  <p>下レールに付着した粉塵やゴミを取り除き、清掃してください。</p>	<p>扉の下端が床と擦っている。</p> 	<p>扉と床が擦らないように、戸車で扉を上調整してください。</p>  <p>時計回りにまわすと扉が上に上がります。</p>
	<p>作動ピンの側面が扉と擦っている。</p> 	<p>扉と作動ピンが擦らないように、ラクラクローズ金具の前後調整で、擦らないように調整してください。</p>  <p>センター位置</p>
	<p>作動ピンが扉と当たる。</p>  <p>鴨居 作動ピンブロック 扉</p>	<p>戸車を下調整し、扉と鴨居のクリアランスが4~5.5mmになるように調整してください。</p>  <p>4~5.5mm</p>
	<p>フラットレールが歪んで取付られている。</p> 	<p>フラットレールを真っ直ぐに固定し直してください。</p> 
<p>右記の調整をおこなっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。</p> <p>作動ピンの取り付け位置を間違えている。</p>  <p>鴨居スペーサー 縦枠 すき間 作動ピンブロック</p>	<p>作動ピンと縦枠の間にすき間がないことを確認してください。</p>  <p>鴨居スペーサー 鴨居 リード穴 縦枠 作動ピンブロック 縦枠との間に隙間がないこと</p>	
<p>鴨居レールもしくはYレールがしっかりとうちこまれていない。</p>  <p>すき間</p>	<p>鴨居レールとYレールをすき間がなくなるまでしっかりとうちこんでください。</p> 	

8. 各金具の調整



電動ドリルを使用
しないでください。

2. ラクラクローズの作動確認

症 状	考えられる原因	調整方法
<p>ラクラクローズが機能せず、扉が勢いよく枠とぶつかる。</p> 	<p>扉上端と鴨居のクリアランスが大きく、ラクラクローズ金具のフックが作動ピンを空振りしている。</p> 	<p>戸車を上調整して、扉上端から鴨居まで4～5.5mmになるようにしてください。</p> 
<p>右記の調整をおこなっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。</p>	<p>ラクラクローズ金具の作動フックが誤作動して、バネが引き込まれた状態になっている。</p> 	<p>金具には自動復帰機能がついています。扉を最後まで閉めてから、再度開けると、作動フックの位置が正常位置に戻ります。</p> <p>①扉を最後まで閉めきる</p>  <p>扉の上側を縦枠に向かって押してください。</p> <p>②扉をゆっくりと開く</p> 
<p>作動フックが折れてしまっている。</p>	<p>作動フックが折れてしまっている。</p>	<p>お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。</p>
<p>ラクラクローズ作動時に扉が跳ね上がり、扉が脱輪する。</p> 	<p>ラクラクローズ金具と作動ピンブロックのクリアランスが大きい。</p>	<p>作動ピンブロックの跳ね上がり防止ブロックの調整を行う。</p>  <p>時計回りにまわすとブロックが下にさがります。</p>

DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。

保証期間経過後の修理については有料となります。

■対象製品

ダイケンリビングドア 引戸
戸車・ラクラクローズ金具・鴨居レール

■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）
保証期間経過後の修理については有料となります。

保証期間一覧表

	保証事項		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期	
使用上の著しい支障が生じないこと	扉	作動不良(故障)	引渡後	2年
外観上の著しい変形・変質が生じないこと		変形、変質(反り、ハガレ、クラック)		

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1: 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



ユーザー登録いただいた方は、次の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品10%割引
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ掲載製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ 0120-787-505

(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(大建工業株式会社プライバシーポリシー)に申しましては、当社ホームページに掲載しております。) なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためのナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>